



# 富国有徳の理想郷 “ふじのくに” づくりを目指して

静岡県知事 川勝 平太

## 予算編成と組織改編の基本方針

平成二十二年度当初予算は、景気低迷の影響により法人二税を中心に県税の大幅な減収が見込まれ、加えて、社会保障関係費等義務的経費が増加するなど、極めて厳しい財政環境下での編成となりました。

しかしながら、このような中においても、「県民生活を守る危機管理の充実と緊急雇用・経済対策」「ふじのくに」づくりに向けた組織定数改編と行財政改革の推進「ふじのくに」づくりの重点施策の推進」の三つの基本方針を設定し、本県の持つ「場の力」を最大限に活用し、物心ともに豊かな「富国有徳の理想郷」ふじのくに「づくり」を県民と共に進めていくために、必要な予算編成と組織づくりを行いました。

## 三つの基本方針に基づく主な取組み

基本方針の第一である「県民生活を守る危機管理の充実と緊急雇用・経済対策」では、危機管理は、ふじのくに「づくり」に最も大切な自立の基礎との認識の下、県有施設の耐震化や医療・福祉施設の耐震対策への支援に重点的に取り組めます。

また、緊急的な経済・雇用対策として、中小企業の支援のため、制度融資の融資枠を拡充するほか、緊急雇用創出事業などにより、介護や農林水産など幅広い分野で雇用創出を図ります。

基本方針の第二である「ふじのくに」づくりに向けた組織定数改編と行財政改革の推進」では、地震災害を始めさまざまな危機の発生に備えるため、新たに危機管理部

を設置しました。

また、有識者や経営者等から成る「ふじのくに」行財政改革新戦略会議」を設置し、新しい行財政改革プランを策定するとともに、静岡型事業仕分けの実施などにより、効率的で透明性の高い「見える県政」の実現に向けた行財政改革を推進します。

基本方針の第三である「ふじのくに」づくりの重点施策の推進」では、県民生活の理想の姿である「生んでよし 育ててよし」「学んでよし 働いてよし」「住んでよし 訪れてよし」の地域の実現を目指した施策を展開していきます。

まず、「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくりでは、地域医療の支援、こども医療費助成の拡充、待機児童解消に向けた幼保一元化の促進、障害者の自立と社会参加の促進などに重点的に取り組み、福祉施策の充実を図ります。

次に、「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくりでは、静岡式三十五人学級編制を平成二十五年度の全学年実施に向けて拡充するなど教育の充実に積極的に取り組むとともに、県内各地で四季折々に多彩な文化芸術活動が展開される「ふじのくに」芸術街道」の実現を目指し魅力ある文化等の創出に取り組めます。

また、高度なもののづくりの技術や人材、多彩な農林水産物など本県が有する資源を最大限に活用しつつ、生産と消費を一体的にとらえた「ものづくり」と「ものづかい」の結合による産業の振興を図ります。

具体的には、日本一の「食材の王国」を「食の都」へと発展させるため、県産食材を利用した食文化を創造する「ふじのくに」グリー

ンニューデール」のほか、県内産業の六次産業化の推進に重点的に取り組みます。

最後に「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくりでは、ふじのくに「に住む魅力の向上を図るため、家・庭一体となった魅力ある住まい方など定住促進に向けたビジョンの策定や、エネルギーの地産地消の促進など環境施策の充実を図ります。

また、富士山と食をテーマにした観光キャンペーンや富士山静岡空港を活用した各種会議の誘致、新しいツーリズムやジオパーク構想の推進により、本県の新たな観光の魅力とブランドの創出や交流人口の拡大を図ります。

こうした取組みの一環として、本年度、上海万博の期間を中心に、富士山の標高にちなんだ三千七百七十六人規模の友好訪中団を浙江省に派遣します。

## 富国有徳の理想郷「ふじのくに」づくり元年

「ふじのくに」には、豊かで、しかも学徳のある人士が集う国（富士）であると同時に、世に二つとない自立した国（不二）でありたいという思いが込められています。名実ともに国内外から憧れを集める地域になるという決意を込めて呼ぶ名が我々の「ふじのくに」です。

本県では昨年末に条例を定め、二月二十三日を「富士山の日」としました。「富士山の日」をして「ふじのくに」の建国記念日たれとの思いを込めたものです。本年はまさに「富国有徳の理想郷」ふじのくに「づくり」の元年であり、県民の皆様と共に国内外に向けて、新しい地域づくりのモデルを提案していきたいと考えています。